

令和元年度 実践研究発表会
ご案内（第二次案内）

子ども達の生きる意欲へとつなぐ 「桃陽の学び」の創造

～一人ひとりの「こんな自分として生きていきたい」という
意欲を支援する授業と移行に向けた連携方法の研究～

文部科学省委託

「高等学校段階における入院生徒に対する教育保障体制整備事業」協力校

令和2年2月21日（金）9:30～16:50（受付 9:00～）

会場 京都市立桃陽総合支援学校
（京都市伏見区深草大亀谷岩山町 48-1）

京都市立桃陽総合支援学校

京都市立桃陽総合支援学校は本校と各大学病院等の中にある5つの分教室と京都市内各病院への訪問教育からなり、小学部、中学部が設置されています。また、支援部を中心に、特別支援学校のセンター的機能として分教室の設置されている病院に入院している高校生への支援を行っています。

本校においては心身症の診断を受けている児童生徒が多く、前籍校での不適應や学習空白があります。また、分教室では、より高度な医療が必要な疾患で入院する児童生徒がほとんどであり、前籍校から長期にわたって離れることや、今後の見通しのもてなさなどについて不安を抱いています。そのため、本校・分教室ともに、児童生徒の自己肯定感が低下する傾向にあります。

こうしたことから、私たちは、特別支援学校（病弱）における自立活動の取組や、ICTを活用した集団形成や復学支援等の取組を通して、児童生徒一人ひとりが願いに基づき、自分らしく生きる姿を実現することを目指した桃陽の学びの創造に取り組んできました。年度末の多忙な折ですが、是非ご参加いただき、皆様からの忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

校長 芝山 泰介

【時程】

9：30～ 9：50 開会の辞・学校紹介

9：50～11：10 桃陽総合支援学校研究の概要

本校・分教室・訪問教育の研究実践報告

ICT を活用した復学支援について

11：15～12：05 授業公開

12：05～13：40 昼食・休憩（展示コーナーにて ICT 体験ができます）

13：40～14：45 文部科学省委託「高等学校段階における入院生徒に対する

教育保障体制整備事業」の概要及び報告

15：00～16：40 講評並びに講演

「特別支援学校と病院、前籍校等との連携による病弱教育のあり方について」

講師 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特別支援教育調査官 深草 瑞世 氏

関西学院大学 教授 丹羽 登 氏

16：40～16：50 閉会の挨拶

授業公開 4校時 【小学部】 11:20～12:05 【中学部】 11:15～12:05

【本校小学部】

教科	グループ	授業者	授業内容
自立活動	気持ちグループ	菊地 憧	他の人の気持ちを考えて自分の気持ちを表出しよう
	自己と向き合おうグループ	綱島 明日香 橋本 幸恵	自己分析発表
	人との関わりグループ	井上 愛美	人との関わり方かるたを作ろう

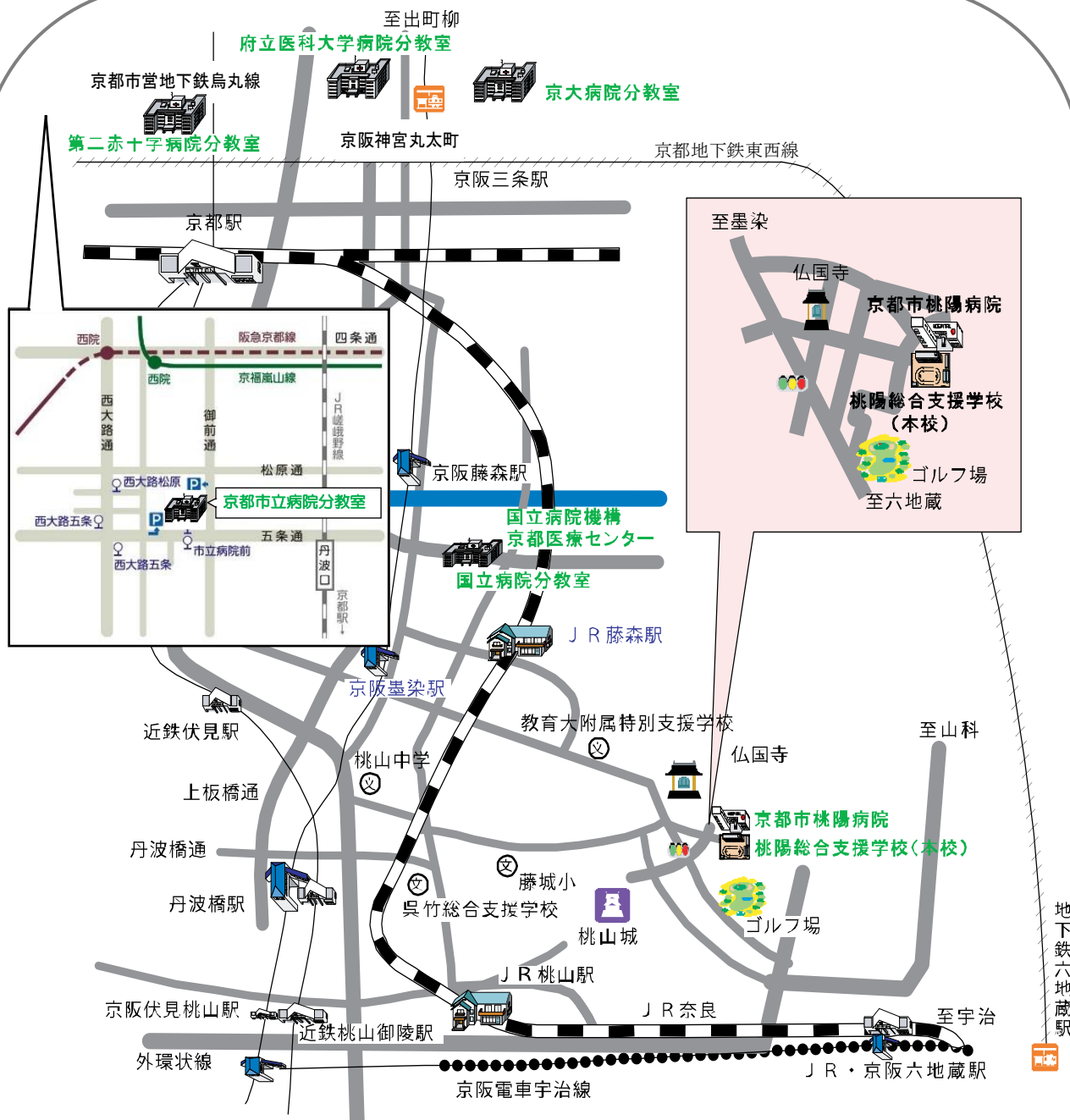
【本校中学部】

教科	学年	授業者	授業内容
数学	2年	藤原 章智	「確率」

【分教室】 分教室のつないだ授業は本校で配信にて視聴いただけます。

教科	学年	授業者	授業内容
国語	小学部	糸川 一恵	つながろう 広げよう みんなで ブックコミュニケーション ～工夫して 楽しく 本を紹介しよう～ (各分教室・病室をつないで行います)
道徳	中学部	矢野 恭裕	他者を理解する(仮) 内容項目(相互理解・寛容) (各分教室・病室をつないで行います)

京都市立桃陽総合支援学校周辺図



○JR 京都駅から JR 奈良線「JR 藤森」駅まで各駅停車で約 10 分、駅より徒歩 20 分
 ○京阪電車「墨染」駅より徒歩 30 分